

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会主催
令和5年度 第2回兵庫県院内がん登録実務者ミーティング議事録

日時：令和6年2月2日（金）14：00～15：45

場所：ZOOM 会議

出席者：38 施設 70 名

当番病院（司会）：兵庫県立淡路医療センター 田中

1. 開会の挨拶

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 安東副部長
（姫路赤十字病院 がん診療連携課 がん登録係長）より

2. 兵庫県がん診療連携協議会ホームページ公表案について

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 山口副部長
（兵庫県立がんセンター 診療情報管理室 主査）より資料のとおり説明があった

- ・今回初めて乳癌・前立腺癌の集計を実施、公表については幹事会でも確認していただく
- ・実際に集計して初めて気づくこともあり乳癌・前立腺癌についても集計比較することが大切、今後ご協力をお願いしたい
- ・詳細情報ページは3月末で最新の情報に更新する、変更希望あれば連絡いただきたい

3. 事前アンケート 院内がん登録全国収集データの二次利用オプトアウトについての調査結果報告

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 山口副部長
（兵庫県立がんセンター 診療情報管理室 主査）より資料のとおり説明があった

4. グループワーク

圏域ごとに4つのグループに分かれ、院内がん登録全国収集データの二次利用オプトアウト拒否対応についてなどの検討をした

5. グループワークの発表と全体討議（質疑応答含む）

(1)各グループより発表があった

①オプトアウトについて

- ・対策をしている施設と準備を進めている施設がある・ホームページに掲載施設とない施設がある
- ・拒否事項を書面に残す/サインしてもらう施設が多かったが書面がない施設もある
- ・診療録に記録/保存する施設や診療録として記録はしない施設など対応が様々である
- ・診療録に記載しなくてもオプトアウトのリストアップのためシステムの付箋や掲示板に記載して運用することを考えている施設もあり対応について個別で判断している現状
- ・ポスター掲示は運用手順に明記あるがホームページ掲載については明記なし。今後検討する
- ・ポスターの掲示場所は正面玄関、がんコーナーや外来と様々であった
- ・不同意書の診療録への記録について院内のがん登録部会等にて決定したという施設もあった
- ・実際に患者さんから申出が現状ないため想像しにくく具体的には落とし込めていない
- ・がん登録システムのベンダー対応（オプトアウト登録項目構築）が遅れている
- ・オプトアウトの説明については医事課職員が行う施設と実務者が行う施設があった
- ・国又は県や圏域で現場に即した運用マニュアル作成できないか、あれば統一した説明ができる

②がん登録業務について

- ・予後情報還元申請についてはどの施設も進んでいない
- ・他の業務をしながらなので登録業務に集中できないことが悩み

(2)全体討議

- ・運用手順の①患者への説明②データの入力③国立がん研究センターへの連絡、対応できる対策をする
- ・オプトアウト項目は症例年ではなく基本情報に登録するため多重がんであっても過去や未来の症例であっても拒否をされた患者さんの基本情報ということを理解することが大事
- ・診療録への記録は国立がん研究センターとしては推奨するが必須ではない、今後の国の動向を見つつ実務者ミーティングで周知していく
- ・足並みを揃えて対応できるように今後も実務者ミーティングで継続して情報共有していく

6. 閉会の挨拶

兵庫県がん診療連携協議会 がん登録部会 山口副部長
（兵庫県立がんセンター 診療情報管理室 主査）より

以上